

くらし・福祉・子育て支援 みなさんの切実な願いを

共産党市議

に託して ください

市民の声で論戦 市政を動かす

国保料値上げ 4年間抑える

共産党議員団は4年前、「一般会計からの繰り入れを増やし、これ以上の国保料値上げはやめよ」と提案。この4年間、値上げ反対の市民の声と共産党議員団の提案が力になり、値上げを抑えることができました。

税金の使い方を チェックするのが 市議会の役割です

夏休みプール無料券 廃止に「待った」

市は「財政対策プログラム」で第一運動公園と小坪飯島公園のプールについて、受益者負担を名目に、子どもたち（中学生まで）と高齢者の無料券発行をやめ、小人100円（約200万円の収益）の負担を求める方針でした。

共産党議員などが、市外の利用者に現行200円を500円に引き上げれば、収益増で市内の子どもに負担させることは必要ないと指摘、「大人市外料金設定の条例改正案」を提案、賛成多数で可決されました。

ひきつづき無料券復活へとりくみを強めます。



小児医療費助成 後退に歯止め

市長は「財政危機」を理由に小児医療費助成（現在小学6年生）を就学前まで引き下げる計画でした。党議員団は「逗子民報」でいち早く取り上げ、市民の批判がつよまり、市長は引き下げ計画を撤回せざるを得ませんでした。

池子の森自然公園 整備事業は休止

市民生活犠牲を強いる一方で、ドッグランや散策路などを含む不要不急の事業を進めつづける必要があるのか。市民の怒りの声を力に、党議員団は、議会で厳しく追及、休止に追い込みました。



日本共産党逗子市委員会
2018年（H30）3月第452号
事務所 沼間2-15-4 ☎871-1321 FAX871-7969

市民生活犠牲は許さない

新しい市議会できりくみます

市民の立場できりくむ2人の共産党議員団を

共産党議員団は6年前から「将来に財政破たんの不安を残す財政見直しなので、身の丈にあった予算編成を」と警鐘を鳴らしてきました。しかし、市長がこの指摘に背を向けた結果、今回の財政危機を招いたのです。

共産党議員団はこの4年間、市民の声を強いる財政危機を招きかねません。くらし、福祉、教育施策の拡充を求め、議案提案権（2人以上）をいかに、予算案など16回の修正案、4回の条例提案を提出し、とりくんできました。ひきつづき議案提案権を持つ2人の議員団実現へがんばります。

- ◎健康診断の充実と重症化予防対策の強化
- ◎保育園・学童保育の待機児解消を
- ◎介護予防と介護サービスの拡充
- ◎ミニバス路線の拡充など
- ◎こども・高齢者のプール無料券の復活

日本共産党の見解を紹介します。

病院誘致では、公募条件の後退は許されません。小児救急な

ど市民が願う病院をつくる交渉をすすめるよう求めます。

新病院に夜間小児救急を

共産党議員団は、子どもの医療費助成拡充を求める市民の請願の紹介議員になり、議会では3回も議案提案し、対象年齢拡大につなげてきました。兼倉市、横須賀市、三浦市、

中学校卒業まで無料

(18年度実施を含む)
相模原、横須賀、鎌倉、平塚、小田原、厚木、大和、綾瀬、海老名、座間、南足柄三浦の12市。葉山、寒川、二宮、中井、大井、松田、山北、箱根、開成、真鶴、愛川の11町と清川村



- ◎交通整理員の復活
- ◎高齢者センター浴場の改修と再開
- ◎図書館など公共施設の開館時間等の縮小に反対

中学卒業まで無料に

子どもの医療費助成の拡充

まずは所得制限なくそう

逗子市は、国民健康保険料を毎年値上げし、暮らしに重い負担をかけようとしています。さらに第7期高齢者保健福祉計画の策定に伴い、要介護認定者数と介護給付費の増加も見込み、介護保険料の値上げを決

くらしの負担軽減へ

介護保険料の値上げ許さない

国保料の連続値上げストップ

3月25日
逗子市議選

